

安心のための安全研修会 ～当たり前を見直す～

がじゅまる学習塾

世界中が揺れた新型コロナウイルスの感染拡大から、あっという間に3年半が経ちました。その間、それぞれの保育現場は、様々な対応に追われながらも、子どもの最善の利益を守るために奮闘してきたことだと思います。

しかしながらこの1年余りで、保育の根本を揺るがすような事故や虐待問題などが数多く報道され、保育士のみならず、社会的にも保育に対する不安が増大し、保育士不足にますます拍車がかかることへの懸念も生まれています。

また、京都大学を中心とした研究チームの乳幼児887人を対象とした調査によると、新型コロナウイルス禍を経験した5歳児は、経験していない子に比べコミュニケーション能力などの発達が平均して約4カ月遅れているとの報告も出されました。

今回、保育現場から届く不安を軽減すること、そして安心できる保育を実現していくために、教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドラインをもとに、安心のための安全研修会を開催することに致しました。ご参加いただくと幸いです。

●目的

教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドラインを理解する
子ども・家庭・保育者にとって安心・安全な保育を行う土台を作る

●開催場所 Zoomオンライン・がじゅまる学習塾 牧志教室（会場での参加は5名まで）

●開催日程 月2回 木曜 13:00～15:00 2時間

●参加費 園での申し込み（5名まで）1回あたり8,000円 6回コース 45,000円
個人での申し込み 1回あたり 2,000円 6回コース10,000円

●講師 岩井 沙弥花（株式会社CREATIVE CONSENTミドルリーダー育成講師）

がじゅまる学習塾 主宰 キャリアコンサルタント（職業訓練校・保育士相談）
巡回相談後のミーティングコーディネーター 保育実践研究に関する企画・指導
放課後児童クラブ支援員資格認定講師 沖縄県保育士等キャリアアップ研修講師（7分野）
沖縄女子短期大学等での非常勤講師（幼児理解・子どもの保健・子ども家庭福祉 等）ほか

●申し込みの流れ

- 1・お申し込みフォームから申し込み
- 2・担当者よりメールの送付 → お振込
- 3・研修会の前日までに、メールにて資料
ZoomURLの送付 → 研修参加

お申し込みフォーム



○お問い合わせ先 ○
株式会社 CREATIVE CONSENT
（金城）
沖縄県那覇市牧志2丁目6-3 4
たからビル4階
098-975-5969（9時～18時）
info@creative-consent.jp

回	日程	テーマ・内容
1	8月17日 (木) 13:00~15:00	<p>「教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン」の全体解説と、保育施設のマニュアル整備の流れ</p> <p>ガイドラインやマニュアル、うまく活用できていますか？ 全体像を理解し、園内で共有し、加えてマニュアル作成に実施、振り返りに改善となると、いくら時間があっても足りません。「教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン」の全体像をつかみ、日々の業務をこなしながらでもできる、安全対策への取り組みをスタートしましょう。</p>
2	8月31日 (木) 13:00~15:00	<p><管理者> 「教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン」から学ぶ、安全管理と保育施設の運営</p> <p>保育施設の運営は、安全を管理することが大前提。保育士不足・子どもの姿の変化・保護者の価値観の多様化が進む中でも、管理者として事故を「防止」し「対応」することに変わりはありません。管理者の健全なマインドと高いスキルが求められる今、様々な角度から「運営」を見直す機会の一つになると、幸いです。</p>
3	9月14日 (木) 13:00~15:00	<p><主任・リーダー> 「教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン」を活用した、チームマネジメント</p> <p>保育士の「ヒヤリ・ハット」したことや「提案のできる組織」であることは、子ども・保護者のみならず、働く保育士にとっても「安心できる園」であることつながります。この回では、マネジメントの理論や実践事例を元に、安全な環境を作り出していくためのチームのあり方やヒヤリハットの活用事例について学びます。</p>
4	9月28日 (木) 13:00~15:00	<p><乳児担当> 「教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン」からSIDS / 誤嚥・窒息 / 転落 / 発達不安を掘り下げる</p> <p>保育施設の中でも、乳児クラスにおける安全面での配慮は特に注意が必要となります。資格の有無や保育経験年数にかかわらず、必要な知識やスキルを理解し、日々の保育の中での小さな変化を見落とさないことが、事故を防ぐことにつながります。</p>
5	10月12日 (木) 13:00~15:00	<p>「教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン」保護者・地域への啓発～連携 編</p> <p>近年の報道を受け、保護者や地域からの、保育に対する見方にも変化が出ています。子ども主体の保育、保育士の働きやすさを追求するほどに、安全面での配慮が置き去りになってしまっているという懸念の声も、少なからず聞こえてきます。この回では、保育施設における安全面での配慮事項をクリアした上で、保護者や地域へどのように理解を促し、連携につなげていくかを検討していきます。</p>
6	10月26日 (木) 13:00~15:00	<p>防災意識と避難訓練 自ら命を守ることでできる子どもを、育むためのアプローチ</p> <p>児童福祉法に基づく基準で、保育施設には月1回以上の避難訓練や消火訓練が義務づけられていますが、その成果に自信を持っていますか？ キャリアアップ研修での対話の中で「同じ環境・状況はひとつもない」「園の考え方やスキルによって、いざという時の対応に大きな差が出る」ということが明らかになってきました。子どもの成長段階に沿ったアプローチについても触れながら、今こそ保育施設に必要な、防災意識と避難訓練について学びます。</p>